



花さき山



タイトル文字：滝平二郎

育児コンシェルジュ

毎週火曜日・木曜日

10:00~14:30

育児のお悩み相談が
出来ます。
お子様にオススメの本も
紹介します。

※専門スタッフが対応します。

※コロナの状況によって中止になる
場合もあります。

こども向け映画会

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：2月12日（日）

10:30~11:50

内容：「おしりたんてい Vol.14」

（上映時間：約80分）

対象：お椅子に座って見られる子

先着10名

申込：1月31日（火）

~2月10日（金）

電話または窓口にて受付

図書館サイト 説明会

お手持ちのスマートフォンやタブレットで
図書館サイトを活用しませんか？

使い方をご説明します！

日時：2月1日（水） 11:00~12:00

定員：5名（電話または窓口にて受付。

当日受付も可。）

変電設備工事に伴う 臨時休館のお知らせ

2月20日（月）~24日（金）の間、工事
のため明野図書館は休館致します。

中央図書館、関城・協和分館、または明野
図書館の返却ポストをご利用ください。

相互貸借資料、視聴覚資料は明野図書館
の開館日にカウンターへご返却ください。

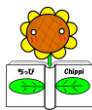
予約受け取りも出来ません。

フィーチャー Feature

スタッフおすすめコーナー
2月のテーマは
「休息」



体がだるい、やる気が出ない
そんな時に必要なのは休息です。
心も体も元気であるために、
休むための技術を身につけて
みませんか？



多賀谷氏の誘う歴史探訪

—廣瀬家の由来を訪ねて—

廣瀬 一彦

定年後に実家に戻り、庭の手入れ、野菜作りに勤しんでいた或る日、畑を耕しているとき、見慣れない金属製のリングが目に留まった。そのリングは「寛永通寶」の通貨であった。発見した通貨が歴史へ誘うとは想像すらしなかったが、郷土史への扉を抉じ開ける機会が訪れることになる。

歴史が大変苦手であった私が郷土史を楽しみ、且つ考えることができるか不安があったが、講師の桐原先生が「自分史を学ぶ」を講義された。先生の講義を拝聴するに、郷土史の学習に加えて、郷土の歴史を調べることにより、改めて新しい道理や知識を探り当てる温故知新を理解し実行すべきであるとの方向性を得て、この温故知新を体得する旅に船出することにした。

原点に立つのであるから、高校生時代を過ごした常総線の下妻駅に立つことにした。東側の泥沼が埋め立てられ、「多賀谷氏遺跡碑」のみが残されており、まさに「夏草や兵どもが夢の跡」である。遺跡碑の裏には、「多賀谷氏の系は実に平氏の支族金子家忠より出つ・・康正の初め、氏家、始めて下妻に城きて（きずきて）焉に（ここに）居り、高経・家植・家重・重政・政経・重経と傳う・・其等、祖先が臣事せるの故を以て、曾てより、其の事蹟の歳久しうして・・碑を城跡に立つ」が刻印されている。

碑文の主の歴史に興味を覚えたので、早速、下妻市立図書館に足を運び『下妻市史』で調査を開始する。「下妻市 多賀谷氏関係 2」の存在を知り、「多賀谷氏并御家中過去帳抜書」を熟読するに下妻市内に居住していた先祖の名前を発見する。更に多賀谷家氏族旗本諸家臣にやはり先祖の名前を発見した。「多賀谷景図記」に依ると、多賀谷氏に至る歴史は時代順に、平氏（四代・一〇八年間）、小山氏（七代・一七七年間）、飯沼氏（五代・八八年間）、多賀谷氏（七代・一四七年間）を経たことを発見した。

これらの情報を総合すると、多賀谷氏と私の先祖は主従関係にあったのではないかと、多賀谷氏の歴史を探訪すると、私の先祖の歴史も明らかになるのではないかと、やっと、郷土史を考えるテーマが見つかった。多賀谷氏の誘う歴史探訪への出帆である。

ひろせ かずひこ / 技術事務所代表